

科目名	小児体育Ⅳ						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
演習	選択	1	2年次	後期			
担当者名	弘中 陽子	関連する資格	保育士資格 選択				
授業概要 小児体育Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの内容を踏まえた上で、より専門的な運動遊びや身体運動に関する知識及び技能を学習し、保育者として幼児の多様な遊びの実践が出来る方法を学ぶ。 また、幼児の運動能力測定等の実践を通して、幼児期に獲得すべき基礎的な動きについて理解を深めるとともに、保育の中でのからだを使った遊びの実践のあり方について学ぶ。							
到達目標 ・ 幼児の運動能力測定の方法、幼児への支援方法が理解できる。また、測定を通して幼児の発達段階における運動能力の違い等を理解できる。 ・ 子どもが自ら進んで楽しくからだを動かすための環境構成、支援方法等を考え、実践できる。			成績評価方法 ・ グループ活動 ・ 授業態度（服装、身だしなみ等を含む） ・ 授業参加度				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験（中間・期末）							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○	○				30
授業態度・授業参加度			○	○	○		20
プレゼンテーション							
グループワーク			○	○	○		50
演習							
実習							
授業計画と概要				アクティブラーニング			
1)オリエンテーション（授業の内容、目的等についてのガイダンス）							
2) 幼児期運動指針から幼児の体力を考える							
3) 幼児の運動能力測定の方法 （幼児期運動指針参照）							
4) 幼児の運動能力測定の実際①							

5) 幼児の運動能力測定の実際②	
6) 幼児の運動能力測定の実際③	
7) 幼児の運動能力を考える (運動能力測定をふりかえる)	グループ活動
8) 幼児の年齢に応じた運動遊びを考える①	グループ活動
9) 幼児の年齢に応じた運動遊びを考える②	グループ活動
10) 幼児の年齢に応じた運動遊びを考える③	グループ活動
11) 考えた運動遊びを実践する①	グループ活動
12) 考えた運動遊びを実践する②	グループ活動
13) 実践活動のふりかえり	
14) 実践活動のふりかえり	
15) 子ども自ら進んで楽しくからだを動かすためには 授業のまとめ	
授業外学習	
授業の空き時間を活用し、グループメンバーと協力し、主体的に活動を進めてください。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
「<改訂>保育の中の運動あそび」石井美晴・菊池秀範編（萌文書林） 適宜、参考資料（プリント）を配付する	小児体育Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 保育内容（健康） レクリエーション演習
備考	